陸上部 NEWS

夏の強い日差しの下で積み重ねてきた努力が、少しずつ実を結ぶ季節となりました。

8月末には大畑和真選手が北海道マラソンに出場しました。有力選手が集うハイレベルなレースとなる中、最後まで強い粘りを見せ、今後のマラソンにつながる貴重な経験を積むことができました。



マラソンへの挑戦を続ける大畑和真選手



今シーズン大きく飛躍したヴィクター選手。更なる飛躍を目指します。

9月初旬に開催された第74回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では、1500mに出場した新人の吉中祐太選手が鋭いラストスパートを披露し、組1着でフィニッシュしました。漆畑瑠人選手も持ち味である安定したレース運びを見せ、実力を発揮しました。5000mでは平島龍斗選手が1組目で1着となり、後に行われた2組の日本人選手を含めても最上位となる好走を見せ、日本人選手トップの成績を収めました。菅野裕二郎選手も積極的なレースを展開し、全国レベルの舞台で力を発揮しました。

また、9月末に開催された第25回NITTAIDAI Challenge Gamesでは、キプタム ヴィクター選手と鈴木創士選手が自己ベストを更新しました。ヴィクター選手は5000mにおいて今シーズン5度目の自己ベスト更新となり、着実な成長を続けています。鈴木選手は昨年のケガを乗り越え、2年ぶりとなる自己ベスト更新を達成しました。阿部陽樹選手も自己ベストにはわずかに届かなかったものの、好調の兆しを感じさせる走りを見せました。

11月にはいよいよ駅伝シーズンが開幕します。これまでのトラックレースや夏場の走り込みで得た経験を糧に、チーム一丸となって更なる飛躍を目指してまいります。

引き続き選手への温かいご声援をよろしくお願いいたします。





全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では新人選手たちが活躍しました!

ピックアップ選手!



鈴木 創士選手

チーム屈指の実力を誇る鈴木選手。昨シーズンはケガに苦しみ、本来の力を発揮できない状況が続きましたが、地道なリハビリとトレーニングを積み重ねてきました。今シーズンは順調に練習を重ね、9月のレースでは1年半ぶりに5000mの自己ベストを更新。駅伝シーズンでの活躍に期待が高まります。



9月のレースでは1年半ぶりに自己ベストを更新できました。昨年はケガでなかなか走れず悔しい思いをしました。今年はその悔しさを糧に駅伝で活躍できるよう頑張ります。
応援よろしくお願いします!

詳しいスケジュールや大会結果を
陸上部公式サイトでチェック!